感染状況・医療提供体制の分析（4月5日時点）

【岡山県専門家有志】
（東京都統括コメント参照）
詳細

区分	モニタリング項目 ＊①～③は過去1週間合計		前回の数値 （3月29日時点）	現在の数値 （4月5日時点）	前回との比較	分析コメント
感染状況	①新規陽性者数	総数 （人口10万人当たり）	649人 （34.6人）	485人 （25.8人）	↘	感染状況コメント：レベル1．感染者数は一定程度にとどまっている
		60歳以上 （総数に占める割合）	163人 （25%）	131人 （27%）	↘	陽性者は人口10万人当たり25.8人と減少傾向。季節性インフルエンザも減少傾向にあるが、注意報発令継続中。 全国的に下げ止まり。新年度になったことによる感染リスクが高まる場面の増加、免疫の減衰、変異株の置き換わり等が今後も感染状況に影響を与えると思われる。体調不良時は外出しないといった心がけや、状況に応じた（感染を広げないため、感染から身を守るため等）マスクの適正使用が必要。
	②保健所別新規陽性者数	岡山市保健所	254人	177人	↘	
		倉敷市保健所	146人	99人	↘	
		備前保健所	51人	47人	→	
		備中保健所	92人	63人	↘	
		備北保健所	32人	27人	→	
		真庭保健所	31人	11人	↘	
		美作保健所	20人	28人	↗	
		その他	23人	33人	↗	
医療提供体制	③入院患者数 （確保病床における入院割合）		35人 （6%）	29人 （5%）	↘	医療提供体制コメント：レベル1．通常の体制で対応可能であると思われる
	④宿泊療養者数		6人	7人	→	入院患者数は減少。医療提供体制としては落ち着いている。
	⑤自宅療養者数		599人	520人	↘	
	⑥重症者数		1人	1人	→	